

重点課題Ⅵ	重大感染症対策の推進
目指すべき姿(目標)	重大感染症(※24)の発生に備え、平時と有事における情報収集・分析・還元・リスクコミュニケーション(※25)を図り、医療体制確保を含めた公衆衛生対策の推進を図ります。
現状と課題	<p>【現状】</p> <p>○感染症対策においては関係機関と顔の見える関係が構築されつつあるが、一部の機関、職員に限定されている。</p> <p>○重大感染症である新型インフルエンザ等対策においても、各医療機関の医療体制の実態や地域で対応できる具体的取組について協議されていない。</p> <p>【課題】</p> <p>○重大感染症への対応は、重要な健康危機管理施策であり、健康危機管理調整手法の基本となる考え方を普及させ、平時・有事に地域全体で取り組みを進める必要がある。</p> <p>○重大感染症発生時の正確な情報収集・分析・還元・リスクコミュニケーションを図るための、病院、診療所、市町等との危機管理医療ネットワーク(※26)を構築する必要がある。</p> <p>○パンデミック時(※27)の医療サージ(※28)に対応ができるよう、各機関が指揮系統のもとに活動ができ地域における医療体制を確保するための関係機関における協議を進める必要がある。</p>
山梨県地域保健医療計画での位置付け	第5章 第12節「その他の疾病等」 1 感染症 第7章 第1節「健康危機管理体制」

施策の展開	行動計画	工程表(年度別事業計画)						数値目標 策定時－6年後 (H35/2023年)
		H30 (2018年)	H31 (2019年)	H32 (2020年)	H33 (2021年)	H34 (2022年)	H35 (2023年)	
○平時から、病院、診療所、市町等との危機管理医療ネットワークの構築を進めます。	○新型インフルエンザ等対策会議等を核とした危機管理医療ネットワークの構築 ○やまなし医療ネット(※29)等の活用検討(リスクコミュニケーションを含む)							○危機管理医療ネットワークが構築されている。
○パンデミック時や医療サージに対応できるよう、有事を想定した医療提供体制の協議を進めます。	○新型インフルエンザ等対策会議等を核とした地域医療提供体制、情報集約・還元の仕組みづくりの協議							○パンデミック時や医療サージ時の地域における医療提供体制、情報集約・還元のしくみができている。
○研修及び訓練を通じて地域での医療体制の充実を図ります。	○研修、訓練の実施							○毎年、訓練・研修を実施し検証できている。